

～看護師が頑張っています～

へき地診療所の挑戦

健康福祉課健康係 TEL 25-1185

市のへき地診療所では、効率的な運営に努める中で医師は複数の診療所で広く診察する体制となっており、看護師が各地域で中心的な役割を果たしています。地域医療の主役である看護師の活動について紹介します。



神島診療所長
小泉 圭吾 医師

これまでの離島やへき地での医療は、医師を派遣することが前提でしたが、今後は人口が減り、広範囲に少人数が住む時代が来ます。へき地の医療人材が減っていく中で、これまでのやり方ではいつか医療体制そのものを維持できなくなることが懸念されます。それを防ぐため、今からオンライン診療など新たな技術を取り入れ、広範囲をカバーできる体制を目指しています。

オンライン診療では、看護師は患者さんの様子を観察し、医師に伝える重要な役割を担っています。最近では心電図検定にチャレンジするなどスキルアップを目指しており、頼もしい存在です。

看護師の活動紹介



県が主催するへき地看護師向けの研修に参加。技術を磨いています！



オンライン診療では、血圧などを測定するほか、患者さんの様子を観察し、医師と情報共有します。



中学生向け職業体験の企画・運営をしています！



看護師が活躍する事例として全国的な学会でも発表しています！

(写真は令和7年9月ルーラルナース学会の学術集会にて)

鏡浦地区の診療体制について

鏡浦地区で効率的に地域医療を維持していくため、4月より3か所の施設を統合し、車両をうまく使う仕組みに変更します。

石鏡分室・今浦分室は廃止し、本浦にある鏡浦診療所に集約しますが、石鏡・今浦から鏡浦診療所まで車による移送を行うほか、オンライン診療機器を積んだ車両(医療 MaaS)が石鏡・今浦に向き、診療所の医師とつないでオンライン診療を行います。

オンライン診療は、お住まいの地域で診療が受けられる便利な仕組みで、診療の選択肢が広がります。

鏡浦地区のみなさんには診療所だけでなく具体的な車両の運行時間などをお知らせしています。

